

平成20年11月6日
農林中央金庫

平成21年3月期 経常利益予想（単体）の修正について

平成20年5月27日に公表いたしました平成21年3月期の経常利益予想（単体）につきまして、下記のとおり修正する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期の経常利益予想（単体）の修正

	経常利益
前回発表予想	3,500億円
今回修正予想	1,000億円
増減額	▲2,500億円
増減率	▲71.4%

2. 修正の主な理由

平成20年5月27日以降も、米国サブプライム問題を契機とする金融市場の混乱が拡大し、統合的なリスク管理に基づいて保守的な財務運営を行って来ましたが、9月中旬以降の金融市場全体のストレス拡大を受け、保有する有価証券において損失の発生が見込まれることなどから、経常利益予想の下方修正を行うものです。

なお、平成21年3月期の半期決算は、最終の取りまとめ段階にあり、11月27日に公表する予定ですが、上記の金融市場混乱の影響により、証券化商品等について市場が極度の緊張状態となり過去に例のない価格下落を示したことから、保有する有価証券に約1,000億円程度の損失の発生が見込まれることなどを主因とし、経常利益(単体)は約200億円程度（前年同期1,506億円）となる見込みです。

3. その他

当金庫は、今後の金融市場変動に適切に対応するための財務基盤の一層の強化を目的とし、当金庫の会員を中心とした資本調達を、平成21年3月期において計画しております。

以上

本件プレスリリースに関する問い合わせ先>

農林中央金庫 広報部（世古，平井，湯山）

Tel：03-5222-2017

本資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。

ご参考資料 平成 20 年 9 月末速報値（単体）

1.有価証券の損失額（注）

単位：億円	
平成20年9月 半期見込み	
証券化商品	-810
【うちサブプライム関連】	【97】
株式関連	-202
合計	-1,013

注：損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

2.証券化商品への投資の状況（注1）

(1) 商品区分別エクスポージャー（注2） 損失額

	AAA、AA	A、BBB	BB+以下	合計	単位：億円	
					3月末比	損失額（注5）
資産担保証券（ABS）	27,585	1,219	0	28,805	10,389	0
住宅ローン担保証券（RMBS）（注3）	6,952	554	48	7,554	-923	-58
商業用モーゲージ担保証券（CMBS）	5,070	1,630	0	6,701	-793	-37
債務担保証券（CDO）	20,663	3,665	87	24,416	-743	-714
ローン債務担保（CLO）	16,844	3,117	0	19,961	-18	-138
証券化商品担保（注4）	3,037	308	87	3,433	-691	-576
債券担保（CBO）他	781	239	0	1,020	-37	0
その他	0	359	392	752	-108	0
合計	60,272	7,430	527	68,230	7,823	-810

注1：証券化エクスポージャーの定義は、パーゼルⅡにおける「証券化エクスポージャー」（平成19年金融庁・農林水産省告示第6号）による。
証券化エクスポージャーについて、内部格付を有するものは対応する外部格付に読み替えている。

注2：一部のCMBSにおいてパーゼルⅡにおける特定貸付債権に含まれるエクスポージャーが証券化エクスポージャーと別に1,530億円あり

注3：サブプライムRMBSを含む。米国政府支援機関関連のモーゲージ担保証券を含まない。

注4：ABS-CDO、CDO of CDO's等の2次、3次証券化商品。サブプライムRMBSを含むABS-CDO、CDO of CDO'sを含む。

注5：損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

3. サブプライム関連商品、米国住宅公社関連債券への投資の状況

(1) サブプライム関連商品への投資の状況(注1) 単位：億円

a. サブプライム住宅ローン担保証券 (サブプライムRMBS：一次証券化商品)(注2)

エクスポージャー	3月末比		損失額(注3)
AAA、AA	1,111	-120	-14
A、BBB	243	-156	-35
BB+以下	48	17	-9
合計	1,403	-259	-58

b. サブプライムRMBSを含むABS-CDO (二次証券化商品)(注4)

エクスポージャー	3月末比		損失額(注3)
AAA、AA	556	-157	-4
A、BBB	57	-12	0
BB+以下	19	4	-21
合計	633	-164	-26

c. サブプライムRMBSを含むCDO of CDO's (三次証券化商品)(注5)

エクスポージャー	3月末比		損失額(注3)
AAA、AA	379	-35	-12
A、BBB	0	0	0
BB+以下	0	0	0
合計	379	-35	-12

注1：サブプライム関連の融資は行っていない。

注2：ビンテージ（証券発行年）別比率は①2004年以前97%、②2005-2006年3%、③2007年以降0%。

注3：損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

注4：SIVが発行するキャピタルノー10.52百万円、減損△25百万円を含む。

ビンテージ（証券発行年）別比率は①2004年以前50%、②2005-2006年36%、③2007年以降14%。

注5：サブプライムRMBSを一部でも含むCDO of CDO's。但しサブプライムRMBSの含有率は僅少。

ビンテージ（証券発行年）別比率は①2004年以前55%、②2005-2006年45%、③2007年以降0%。

(2) 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注1) 単位：億円

エクスポージャー	3月末比		損失額(注2)
エージェンシー・モーゲージ債	21,484	-14,160	0
エージェンシー債	13,084	-7,598	0
合計	34,568	-21,758	0

注1：米国住宅金融公社とは、米国住宅金融に関連した米政府支援機関(GSE)で、ファニーメイ、フレディマック、フェデラル・

ホームローン・バンクがある。エージェンシー債とは米国住宅金融公社が発行する社債、エージェンシー・モーゲージ債とは、

米国住宅金融公社が組成・保証する住宅ローン担保証券をいう。米国住宅金融公社にかかる株式の保有は僅少。

この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は6,508億円。

注2：損失額は減損額。